

世界行動療法認知療法会議

全世界の行動療法・認知療法の研究者・臨床家が一堂に会する会議は、1995年のデンマーク・コペンハーゲン以降3年おきに、1998年メキシコ・アカプルコ、2001年カナダ・バンクーバーと継続されてきました。この世界行動療法認知療法会議（World Congress of Behavioral and Cognitive Therapies; WCBCT, <http://www.congre.co.jp/WCBCT2004/index.html>）がまもなく2004年7月20日から24日の5日間にわたり、「グローバルスタンダードを目指して」をスローガンに、神戸国際会議場^{注1)}（〒650-0046 神戸市中央区港島中町6-9-1, <http://www.kcva.or.jp/kcc/icck/01-008.htm>）を会場として開催されます。

プログラムの概要^{注2)}

基調講演

David H. Barlow (ボストン大学, アメリカ), Zoung-Soul Kim (ソウル国立大学, 韓国), Paul Salkovskis (ロンドン大学, イギリス), 内山喜久雄 (筑波大学)

招待講演

Paula Barrett (グリフィス大学, オーストラリア),

第29号の発刊にあたって

第29号では、まもなく神戸で開催される世界行動療法認知療法会議（WCBCT2004, 会期：2004年7月20日～24日）のプログラムなど、その概要を掲載しました。日本認知療法学会の会員はもちろんのこと、認知療法に関心をお持ちの方々のご参加をお待ちしています。

日本認知療法学会への入会をご希望の方は、ファクスまたは電子メールで学会事務局*までご連絡ください。

Keith S. Dobson (カルガリー大学, カナダ), Svein Eikeseth (アーケシュフース大学, ノルウェー), Edna B. Foa (ペンシルバニア大学, アメリカ), 古川壽亮 (名古屋市立大学), Laura Hernandez Guzman (メキシコ自治大学, メキシコ), Felicitas Kort (ヴェネズエラ行動療法学会, ヴェネズエラ), Jung-Hye Kwon (高麗大学, 韓国), Kim T. Mueser (ダートマス大学, アメリカ), 小林重雄 (吉備国際大学), Robert Paul Liberman (カリフォルニア大学ロサンゼルス校, アメリカ), Isaac Marks (ロンドン大学インペリアルカレッジ, イギリス), 大野裕 (慶應義塾大学), Lars-Göran Öst (ストックホルム大学, スウェーデン), Jacqueline B. Persons (サンフランシスコベイエリア認知療法センター, アメリカ), Jan Prasko (プラハ精神医学センター, チェコ), Mingyi Qian (北京大学, 中国), Juan Jose Sanchez-Sosa (国際応用心理学協会, メキシコ), Tullio Scrimali (カターニア大学, イタリア), Susan H. Spence (ク

^{注1)} 神戸国際会議場：JR三ノ宮駅からポートライナー（市民広場駅下車）で10分、JR新神戸駅から地下鉄（三ノ宮駅乗り換え）ポートライナーで20分、関西国際空港からリムジンバス（三ノ宮乗り換え）ポートライナーで80分、大阪（伊丹）国際空港からリムジンバス（三ノ宮乗り換え）ポートライナーで55分

^{注2)} 敬称略。なお、本稿は世界会議の公式ホームページ（<http://www.congre.co.jp/WCBCT2004/index.html>）からの抜粋（一部改変）である。

*日本認知療法学会事務局

〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島

鳴門教育大学教育臨床講座 井上和臣研究室内

FAX 088-687-6293

E-mail jact-admin@umin.ac.jp

URL <http://jact.umin.jp/>

イーンズランド大学, オーストラリア), 山上敏子 (久留米大学)

ワールドラウンド

各分野の専門家による最新の診断方法, 治療方法が実践形式で紹介されます。

Keith S. Dobson (カルガリー大学, カナダ), Ian M. Evans (マセイ大学, ニュージーランド), Hyman Hops (オレゴンリサーチ研究所, アメリカ), Arthur M. Nezu (ドレクセル大学, アメリカ), Paul Salkovskis (ロンドン大学, イギリス)

教育セッション

マニュアルの活用方法, スーパービジョン, 教育プログラムへの有効な参加方法など, 若手研究者の研究と実践に役立つ知識が提供されます。

座長1: 原井宏明 (独立行政法人国立病院機構 菊池病院)

David H. Barlow (ボストン大学, アメリカ), Keith S. Dobson (カルガリー大学, カナダ), Jung-Hye Kwon (高麗大学, 韓国), Sing Lau (香港バプテリスト大学, 香港)

座長2: 坂野雄二 (北海道医療大学)

Svein Eikeseth (アーケシュフース大学, ノルウェー), Freedom Leung (香港中文大学, 香港), Juan Jose Sanchez-Sosa (国際応用心理学協会, メキシコ), Jacqueline B. Persons (サンフランシスコベイエリア認知療法センター, アメリカ)

座長3: 松見淳子 (関西学院大学)

Isaac Marks (ロンドン大学インペリアルカレッジ, イギリス), Arthur M. Nezu (ドレクセル大学, アメリカ), Mohamed Hatta Shaharom (ケバンサーン大学病院, マレーシア), Wu Yin-Chang (台湾ナショナル大学, 台湾)

シンポジウム

●児童・青年における抑うつへの脆弱性 ●抑うつの脆弱性研究における方法論的進歩 ●動機づけ面接法: 物質乱用の治療から健康行動変容の一般理論へ ●認知行動療法の実践におけるアジアと西洋の文化差 ●青年期の物質使用と乱用: 発達軌道と治療 ●児童・青年期における不安と抑うつに対する学校を基盤とした介入 ●EMDR法: その評価と

応用 ●マインドフルネスを考える: 認知行動療法におけるマインドフルネスと受容の地図を作る ●学校における児童・生徒の問題の認知行動アセスメント・介入・予防についての経験に裏づけられたモデル ●社会恐怖と対人恐怖症: 認知行動療法と薬物療法についての文化的パースペクティブ ●統合失調症を持つ人々のコミュニティ生活を改善するための社会生活技能訓練 (SST) ●不安障害の発生における病因論的・リスク的要因 ●行動療法的家族介入法の進歩 ●スティグマとラベリング ●幻覚と妄想に対する認知行動アプローチ ●妄想の心理学のアナログ研究 ●不安における破局的な認知: その維持と変容 ●神経認知障害に対する行動分析と認知行動療法: 最近の進歩 ●認知行動療法と職業としての臨床心理学の発展: イギリスと日本での体験の比較 ●摂食障害への認知行動療法の促進 ●脳機能イメージングによる認知行動療法の神経生物学的な基礎の裏づけ

ワークショップ

ワークショップでは, うつ病, 不安障害, 発達障害, 統合失調症などが取り上げられます。日本にいながら, 世界の著名な行動療法・認知療法の臨床家によるワークショップに参加できるのは, 初めてのことであり, 画期的なことと言えます。この機会を利用して, ぜひ研修を受けられることをお勧めします。

ワークショップに参加すると, 明日から臨床の場で役立つ臨床技能を研修することができます。本で読むだけでは, 臨床技能は身につけません。ワークショップでは, ビデオで事例を提示したり, エクササイズを行ったりして, 臨床家にわかりやすい形式がとられます。世界の行動療法・認知療法の最前線がどのようになっているかを実感することもできます。

ワークショップは2004年7月20日(火)~24日(土)に神戸国際会議場で開かれます。

ワークショップには, 以下のように, 全日ワークショップ(6時間コース)と半日ワークショップ(3時間コース)があります。ワークショップの講師は臨床経験もワークショップ経験も豊富な

臨床家ばかりです。今回のワークショップでは、配付資料を日本語に訳したり、一部のワークショップには通訳をつけたりして、日本人にも理解できるように配慮する予定です。

〈全日ワークショップ〉

- 児童・青年期における不安障害の性質と治療
- 統合失調症の陽性症状に対する認知行動療法
- 動機づけ面接の入門
- トラウマと解離に対する行動・認知・情報処理による治療モデル
- 発達障害のアセスメントと行動療法
- 成人と子どもにおける特定恐怖症の短期的治療
- 治療への準備と再発予防のためのマインドフルネスに関する理論・研究・実践
- 認知行動療法：心理的障害に対する多様な治療方法
- 妄想に関する認知行動療法
- 日常生活における治療的支援：併存症の診断を受けた発達障害者を地域社会で支援するための多面的モデルのアプローチ
- 認知療法と薬物療法の統合による成人のADHDの治療
- 単一事例研究法：臨床研究者から社会的責任を持てる臨床実践家へ
- 統合失調症患者の認知療法とリハビリテーション
- タイプIIトラウマ犠牲者への認知行動療法
- スピリチュアリティに導かれた行動療法：東洋と西洋の合流
- PTSDの現象学・神経生物学および治療について
- 行動的家族介入法の進歩

〈半日ワークショップ〉

- パフォーマンス場面などで体験する自滅的な羞恥心を征服するための支援
- 統合失調症患者の症状の自己管理についての指導
- 全般性不安障害に対するグループ認知行動療法
- 精神療法におけるエビデンスベーストアプローチの実践入門
- Letting Go：境界性人格障害の認知療法
- 統合失調症の社会的スキル訓練
- ノンバーバルな発達障害児を対象とした絵の交換によるコミュニケーション・システム（PECS）
- 医療における患者の動機づけ面接
- 認知行動療法におけるケースフォーミュレーションと治療計画
- 強迫性障害の診断と認知行動療法
- The Go! Program：情動障害の一般的予防から選択的予防に至るヨーロッパのアプローチ
- 不安障害の治療についての理解：なぜ実証だけでは不十分か
- アスペルガーおよびAD/HDと診断された患者における不安と抑うつに対する認知行動療法
- 認知行動療法の豊かな研究成果を臨床実践に活かす方法

会議およびワークショップへの参加方法

ワークショップに参加するには、(1) 会議参加の申し込みと会議参加費の支払い、(2) ワークショップ参加の申し込みとワークショップ参加費の支払いの2つが必要です。

(1) 会議参加の申し込み

ワークショップに参加するためには、WCBCT 2004の会議に参加する必要があります。まだ会議登録をしていない方は、会議登録をしてください。

A. インターネットで：ウェブサイトから直接申し込みます。

B. インターネットで：ウェブサイトから申し込み用紙をダウンロードし、用紙に必要事項を記入して、郵便・FAX・eメール添付などでお送りください。

C. 登録申し込み書で：登録申し込み書に必要事項を記入して、郵送・FAXでお送りください。

(2) ワークショップ参加の申し込み

申し込み方法には以下の3通りの方法があります。

A. インターネットで：ウェブサイトから直接申し込みます。参加登録とワークショップが同時にお申し込みいただけます。すでに、参加申し込みを済まされた方も、こちらからワークショップをお申し込みください。

B. インターネットで：ウェブサイトから申し込み用紙（和文か英文）をダウンロードし、用紙に必要事項を記入して、郵便・FAX・eメール添付などでお送りください。

C. パンフレットにはさんである申し込み書に必要事項を記入して、郵便・FAXなどでお送りください。

お申し込みにあたっては、受講したいワークショップを選択してください。先着順に受け付けます。ご希望のワークショップが定員に達した場合は、他のワークショップを改めてお申し込みくだ

さい。すでに会議登録が済んでいる方は、「会議登録済み」をチェックし、会議の登録番号を記入してください。まだ会議登録をしていない方は、インターネットで登録するか、会議登録書を記入して送ってください。

会議登録料とワークショップ登録料の支払いが確認できしだい、参加するワークショップを記載した「ワークショップ参加証」をお送りします。当日は、ワークショップ参加証をご持参ください。会場で確認いたします。

ワークショップ参加証受領後の変更や取り消しなどはできません。納入された登録料はお返できません。またリーダーの都合によりワークショップが中止になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。リーダーなどの都合により、登録されたワークショップが取りやめになった場合には、ご返金いたします。

登録料の支払いについては、早期登録は6月30日までとします。7月1日以降は当日受付にてお支払いください。

お支払い方法

銀行振り込み、もしくはクレジットカードでお支払いください。

- 振込先 銀行名 : 東京三菱銀行麹町支店
 口座番号 : (普) 1331910
 口座名義 : WCBCT2004 (ダブリューシービーシーティーニセンヨン)
- クレジットカード : Diners Club, American Express, VISA, MasterCard

会議登録料

カテゴリー	早期登録 (6月30日まで)	当日登録 (7月1日以降)
会 員	25,000円	28,000円
非 会 員	38,000円	41,000円
学生会員	7,000円	9,000円
学生非会員	9,000円	11,000円

ワークショップ登録料

カテゴリー	半日 (1回当たり)	全日 (1回当たり)
会 員	6,500円	13,000円
非 会 員	9,500円	16,000円
学生会員	5,000円	9,000円
学生非会員	5,500円	11,000円

なお、WCBCT2004に関するお問い合わせは、下記をお願いします。日本認知療法学会事務局では行っていませんので、ご注意ください。

2004年世界行動療法認知療法会議事務局
(WCBCT2004)

〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1
 弘済会館ビル
 株式会社コングレ内
 Tel : 03-5216-5551
 Fax : 03-5216-5552
 E-mail : WCBCT2004@congre.co.jp

WCBCT2004では、特に世界中から集まった研究者と交流し、皆様の日頃の研究成果を世界に向けて発信する絶好の機会になることと思います。2004年7月、異国情緒あふれる港町、神戸へのお越しを、心からお待ち申し上げます。